

**はるひ野町内会 自主防災組織アンケート(2017年4月8日実施)集計結果**

(1) 自主防災組織(旧防災部会を含む)活動で参加したことがある訓練、講習会などをお選び下さい。(複数回答可)

- ① 防災ふれあい祭 ②心肺脳蘇生法講習会 ③安否確認旗掲出訓練 ④幼児安全法講習会  
⑤消火栓ホースによる放水訓練 ⑥防災資機材取り扱い訓練 ⑦立川防災館体験  
⑧その他( )

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計
28	6	43	3	15	3	0	98
28.6%	6.1%	43.9%	3.1%	15.3%	3.1%	0.0%	100.0%

(2) 毎月の回覧にある「自主防災かわら版」を、読まれていますか。

- ①よく読んでいる ②ざっと目を通す ③ほとんど読まない ④読まない

①	②	③	④	計
11	88	17	5	121
9.1%	72.7%	14.0%	4.1%	100.0%

(3) 「自主防災かわら版」の情報の中で、あなたやあなたのご家族にとって役立つ情報がありますか。

- ①大変役立つものが多い ②時々役立つものがある ③他の情報源から得られるものが多く、あまり役立つたない ④何も無い

①	②	③	④	計
18	72	9	4	103
17.5%	69.9%	8.7%	3.9%	100.0%

(4) 「自主防災かわら版」で提供して欲しい情報やニュース等をお書きください。

トイレ使用不能時(水無し)の対応:1

備蓄飲食料(何を、どの程度):2

災害時避難所:1

防災グッズ(カテゴリ分け、何回も、家庭にあるものの利用できる方法):1

避難場所と備蓄されているものの案内情報:1

災害発生時に役立つ情報、体験談等:1

はるひ野の断層があるのか? 地震に起因する問題は無いのか?:1

情報伝達方法:1

自主防災組織として災害時に何ができるかの情報発信:1

備蓄の内容と保管場所、災害時でのそれらの活用方法、災害時の行動の仕方:1

(5) 災害(例えば直下型大地震)が起きた際に、自主防災組織が援助、救援をしてくれると思いますか。

- ①積極的に援助、救援をしてくれる ②情報や状況を教えてくれたり、相談に乗ってくれるくらい  
③あまり期待していない ④援助、救援は無理

①	②	③	④	計
24	63	27	3	117
20.5%	53.8%	23.1%	2.6%	100.0%

(6) 平常時に自主防災組織に求める活動(訓練、講習会、情報発信、調査等、なんでも結構です)は、何ですか。できるだけ具体的に記載してください。

訓練 :20 (以下コメント)

- \* 自分の事だと思える訓練(資格、認定などが取れるものがあると良い)
- \* 防災資機材取り扱い訓練
- \* 情報連絡などのリハーサル
- \* 緊急備品の使い方

災害時実際起きた場合のそれぞれの動き、役割などが決まっていると分かりやすい

情報発信/提供:30(以下コメント)

\* 組織の活動内容、災害時の行動の仕方等の情報発信:1

実際の災害時の緊迫感のわかる、体験できるような施策:1

危険地区の調査:1

幼児安全法講習会を日曜日に:1

起こりうる災害発生を想定した行動マニュアル: 1  
はるひ野の災害の予測される大きさ: 1  
救命講習やコミュニケーションルールの確保: 1  
講習会: 7  
調査: 2  
自治体、電気、ガス、水道との情報連絡活動: 1  
災害が起きた時に一番先に行う重要な事／マニュアル作成希望: 1

(7) 災害発生直後に自主防災組織に求める行動、活動(情報収取、救助、援助等、何でも結構です)は、何ですか。できるだけ具体的に記載してください。

情報発信／提供: 33(以下コメント)

- \* 災害時には大きな音で(スピーカー等)案内を希望
- \* 被害状況、救助が来るまでの時間など
- \* 避難所などの情報発信
- \* 災害、対応等の速やかな連絡
- \* 安全エリアへのエスケープルートの説明
- \* 現状把握の情報開示

情報収集: 20

救助／援助: 18(以下コメント)

- \* 人命救助
- \* 障害者や高齢者を避難所へ誘導
- \* 救助の取りまとめ(リーダー)
- \* 高齢世帯に援助

安否確認: 4

ネット使用可の状況で、メール、Webで指示、援助状況、要援護の連絡等、指揮希望: 1

何をすべきか、他の人の為に何をしたら良いかなどを教えて欲しい: 1

コミュニティ形成: 1

物質提供を混乱なくして対応: 1

援助や救助を行う上での指導、支持をする立場: 1

怪我・病気に対処できる連絡作り: 1

災害本部の設置: 1

(8) 災害発生後しばらくして(災害発生してから2～3日後)自主防災組織に求める行動、活動は何ですか。できるだけ具体的に記載してください。

情報提供: 18(以下 コメント)

- \* 避難所での地域情報提供
- \* ネット使用可の状況で、メール、Webで指示、援助状況、要援護の連絡等、指揮希望

食料、飲み物確保: 13(以下 コメント)

- \* 食料、物資の見通し
- \* 救援物資等の連絡
- \* 水の配布
- \* 水道と電気のサポート
- \* 給水
- \* 飲料水、生活水の確保
- \* 物資の配布

トイレの設置: 1

安否確認: 2

被害状況: 4

- \* 状況把握(各自宅)を聞きに来て欲しい。困っていることなど

援助: 7

- \* 生活関連への援助
- \* 被災者世帯のサポート
- \* 相談的な事。家が有ったら訪問(困っていることを聞き出す)
- \* 困っている事の確認
- \* 支援が必要な内容や呼びかけ

住、食、医療等必要となる事柄について活動をリードして欲しい: 1

情報確認と共有: 2

避難所運営、復旧作業の取りまとめ役: 2

(9) 災害が発生した場合、あなたはボランティアとして町内活動に協力を申し出ますか。  
 (ご自身、ご家族が安全な状態である場合)

①積極的に協力する ②頼まれたら協力する ③あまりやりたくない ④やらない

①	②	③	④	計
31	75	7	2	115
27.0%	65.2%	6.1%	1.7%	100.0%

高齢なのでできない: 1

(10) はるひ野地区の避難所の避難場所は「はるひ野小中学校大アリーナ」ですが、避難所に避難する事について、どの様に考えていますか。

①自宅にいられる場合でも、とにかく避難所に行けば誰かが助けてくれるだろうと思うので、まずは避難所へ避難する

②不足するようなものを分けてもらえるかも知れないので、避難所に行く  
 (避難所に避難するのではなく、食べ物、飲み物、日用品など不足するものを求めて)

③避難所の生活の大変さを想像すると、家にとどまれないぎりぎりな場合以外は行きたくない

①	②	③	計
15	50	55	120
12.5%	41.7%	45.8%	100.0%

(11) 避難所生活は大変厳しいものと想像されます。どのようなことがご自分や家族にとって厳しい状況だと思われますか。(複数回答可)

①季節の厳しいときの気温 ②冬場の床温度 ③騒音 ④プライバシー保持の難しさ

⑤トイレ ⑥風呂 ⑦就寝の時間帯 ⑧食事 ⑨その他( )

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
74	44	18	71	86	52	14	46

ペット同伴が困難: 5

ストレス: 2

\* 子供へのストレス負担

小さい子供の心身のケア: 1

動けない病人を抱えてる: 1

衛生面: 1

アレルギーの為: 1

狭い: 1

(12) 大地震などの災害後に自宅にとどまられるのが一番望まれることですが(自宅避難)、自宅が大地震等による被害を少なくする様な予防策を取られていますか。

①十分な対策を取っている ②それなりの対策をしているが十分ではない事は承知している  
 ③なんとなく対策をしているつもり ④あまり対策していない ⑤何もしていない

①	②	③	④	⑤	計
2	38	44	31	1	116
1.7%	32.8%	37.9%	26.7%	0.9%	100.0%

(13) 取られている具体的な予防対策(家具固定、什器処置など)を教えてください。

①大型家具の転倒防止策 ②小型家電等の固定 ③飾り物などの落下防止策

④ガラスなどに飛散防止フィルムの張りつけ ⑤開閉扉の地震時の自動ロック機能

⑥その他( )

①	②	③	④	⑤	計
57	16	11	8	27	119
47.9%	13.4%	9.2%	6.7%	22.7%	100.0%

食料備蓄: 2

ブレーカー設置: 1

転倒するような家具は置かない: 1

(14) 備蓄食料、飲料は災害後どの位の日数持ちそうですか。

①2週間以上 ②10日程度 ③1週間程度 ④3~4日程度 ⑤1~2日程度

①	②	③	④	⑤	計
1	5	35	48	26	115
0.9%	4.3%	30.4%	41.7%	22.6%	100.0%

(15) 防災の為に町内のデータベースを構築することが必要と感じています。どのような情報であれば提供して頂けますか。(複数回答可)

①氏名 ②住所 ③家族構成 ④年齢・年代 ⑤災害時に援助を希望する方の有無(ハンディキャップのある方、高齢者の方等)⑥昼間の在宅の有無 ⑦災害時に必要な特殊技能の有無 ⑧情報提供はしない

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
77	70	74	60	60	26	33	3

食品アレルギー、特別な病気情報: 1





